

【熊本国税局長賞】

私たちの未来を変える税金

宮崎市立大淀中学校

三年 豊浦萌花

私たちが毎日安全に、そして安心して暮らしている陰には「税金」という大事な仕組みがあります。税金は、国や地方自治体が道路や学校、病院などを整備し、私たちの生活を支えるための財源です。普段意識していなくても、身の回りの多くのものやサービスが税金によって支えられています。宮崎も例外でなく、一人一人の納める税金がいろいろな形で社会を支えています。

例えば、私の通う学校の校舎や体育館は税金によつて建てられ、修繕されています。また、教室の冷暖房設備や図書室に並ぶ本なども全て税金によつてまかなわれています。これらはすべて私たちが快適に学び、成長するためには欠かせないものです。

また、宮崎市は自然災害にも備えるため、防災設備や避難所の整備にも力を入れています。各地にある防災倉庫には、非常食や毛布、発電機などが備蓄され、地震や台風などの緊急時にすぐに使えるようになっています。このような備えは、普段の生活では気づきにくいかも知れませんが、いざというときに私たちの命を守ってくれる大切な存在です。

さらに、宮崎市は観光資源を活かしたまちづくりにも積極的です。青島やフェニックス並木、日向灘の美しい海岸線、そしてプロ野球の春季キャンプ地などを整備し、多くの観光客を迎えてています。観光客が増えれば、飲食店や商店がにぎわい、地域経済が発展します。観光地の案内板やトイレの整備、イベントの開催支援なども税金によつて賄われています。こうした取り組みが市の魅力を全国に広めているのです。

その中でも、近年注目されているのが「ふるさと納税」です。ふるさと納税とは、自分が応援したい自治体に寄付する制度で、寄付を受けた自治体はそのお金を地域づくりや福祉、教育などに活用します。宮崎市は、返礼品として完熟マンゴー、地鶏、宮崎牛、焼酎などを用意し、その魅力を全国に発信しています。

税金やふるさと納税は、単に「取られるお金」や「贈り物をもらう制度」ではなく、「みんなで未来をつくるためのお金」だと思います。そして、それをどのように使うかは、私たち市民の関心や意見によつても変わります。税金の使い道に興味をもち、必要なところに正しく使われているかどうかを見守ることは、これから大人になる私たちにとって大切な責任だと感じます。

これから大人になるにあたつて、私は「自分の暮らす場所に誇りを持つこと」「社会の一員として責任を果たすこと」「未来を見据えて行動すること」を心に刻みたいです。宮崎市のまちづくりや税金の使い方を学ぶことは、自分の将来の生き方を考えるきっかけにもなりました。私もまた、これから宮崎市がより安全で、豊かで、笑顔あふれるまちになるよう、小さな一步を踏み出したいです。